

## 2022年度の連携・協働活動の報告

### 【目次】

1. 第1回「埼玉セブンの森」環境保全活動（12月3日(土)）の報告・・・・・・・・・・P2
2. 大和ハウス工業（株）埼玉支社の地域連携活動（12月9日(金)）の報告・・・・・・・・P4
3. つばさ北小学校環境学習（2月7日(火)）の報告  
（日本財団「海と日本プロジェクト」助成金活用・アサヒユウアスと連携）・・・・・・・・P5
4. 本田航空（株）による機械除草の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7

### 【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。  
ご了承下さい。

# 1. 第1回「埼玉セブンの森」環境保全活動（12月3日(土)）の報告

- 11月9日(水)の「埼玉セブンの森」協定締結後初めてとなるセブン-イレブン記念財団並びに関係団体を主体とする環境保全プログラムを実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初の想定参加者数の約半数の参加でしたが、環境保全活動としては、子どもたちによるカワラナデシコの移植や大人によるサクラソウ群落再生地でのヨシの運び出しのほか、オギ群落再生地へのオギの移植を行いました。さらに、体験プログラムとして、自然再生地の生物多様性の学びとカヤネズミの営巣調査を行いました。
- 実施概要
  - ▷ 日時：2022年12月3日（土）9:30～12:00
  - ▷ 場所：太郎右衛門自然再生地（中池・河原草地/サクラソウ群落再生地/チガヤ草地(南側)/オギ群落)
  - ▷ 参加者：46名（セブン-イレブン加盟店20名、セブン-イレブン社員21名、セブン-イレブン記念財団5名(事務局等を含む)）
  - ▷ 内容：河原草地でカワラナデシコの移植（対象:子ども）とサクラソウ群落再生地でヨシの運び出し（対象:大人）を行い、その後2班に分かれて、自然再生地の学びとチガヤ草地（南側）のオギの掘り取り並びにオギ群落再生地への移植を実施
- 対応者：堂本委員長、小川委員、荒木委員、運営事務局（5名）

## 【スケジュール】

時間	内容	
9:30	■ オリエンテーション ・開会挨拶 ・本日の予定説明 ・ラジオ体操	
9:45	■ ヨシの運び出し（大人による作業） ■ カワラナデシコ移植作業（子どもによる作業）	
10:20	■ 自然再生地の学び ・生物多様性について ・モニタリング体験（カヤネズミ営巣調査）	■ オギ掘り取り・移植作業 ・チガヤ草地のオギの掘り取り ・オギ群落再生地へのオギの移植
11:30	■ 看板披露および閉会式 ・看板設置作業 ・看板披露と記念撮影 ・表彰式 ・閉会挨拶 ・事務連絡	

## 【活動の振り返りと今後の方向性】

- ・「埼玉セブンの森」としての初の環境保全活動は、参加されたセブン-イレブン記念財団の担当者より好評をいただきました。今後も、同規模での活動が維持できるよう、参加者の意欲喚起に向けて、環境保全の意義や効果を共有していきます。
- ・モニタリング体験として提案したカヤネズミの営巣調査では、参加者が新たな球巣を1つ発見し、自然再生上有効なデータとなりました。また、動植物に関する知識を有しなくとも多数によって有効となるモニタリングができることが確認できました。さらに、参加者も興味をもって取り組んでいました。そうしたことから、次回（春季）もモニタリング調査をプログラムとして取り入れ、竹林におけるタヌキのため糞調査を提案していきます。
- ・今回初の催しとして、セブン-イレブン記念財団の提案で活動開始前にラジオ体操を行いました。身体のウォーミングアップとしてだけでなく、参加者のアイスブレイクにもなっていました。次回の環境保全活動のほか、一般ボランティアが集う維持管理活動においても取り入れを考えていきます。
- ・各移動時間に想定より多く時間を要し、活動時間が短くなってしまいました。次回は活動内容を詰め込み過ぎず、余裕をもって活動できるメニューと時間設定を検討していきます。

# 1. 第1回「埼玉セブンの森」環境保全活動（12月3日(土)）の報告

## 【実施状況】

### 作業前後

河原草地



作業後

サクラソウ群落再生地

非表示

オギ群落再生地



作業後

### 作業状況



カワラナデシコの移植



移植したカワラナデシコ



看板設置



ヨシの運び出し



オギの掘り取り



表彰式



オギの移植



球巣

カヤネズミの球巣



集合写真

### 作業範囲

非表示

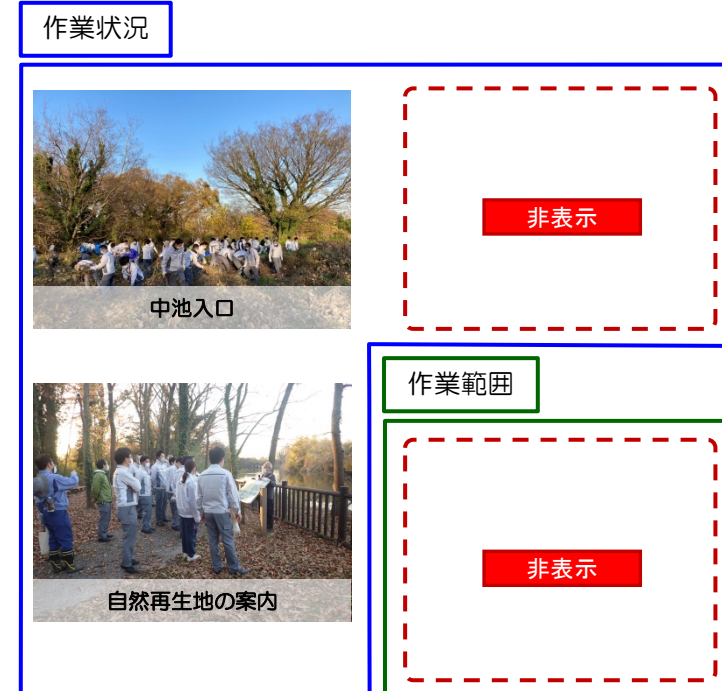
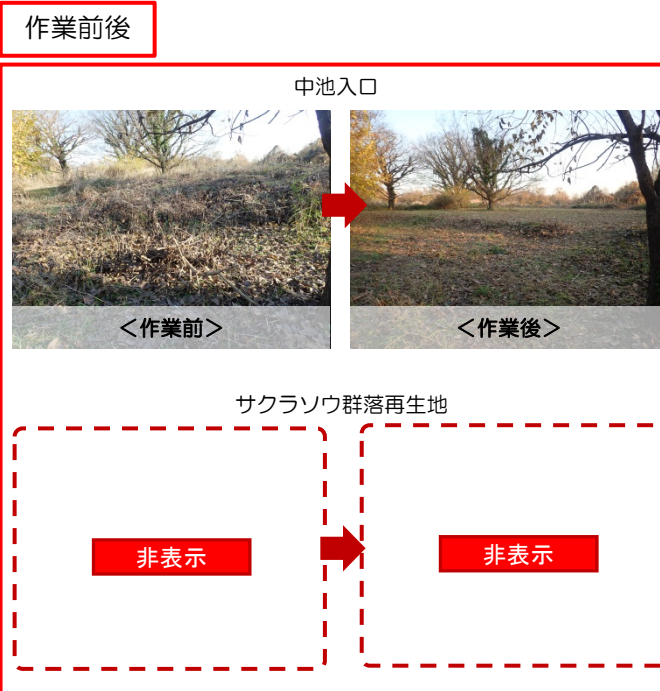
## 2. 大和ハウス工業（株）埼玉支社（12月9日（金））の地域連携活動の報告

- 大和ハウス工業（株）埼玉支社より、全社員による社会貢献活動の受け入れの可能性について打診があったことをきっかけに2019年度に初めて自然再生地で活動を行い、今年度は3回目の活動となりました。200名規模の大人数での参加となることから、中池入口南側エリアの除草並びにサクラソウ群落再生地の刈り取ったヨシの運び出しを行いました。
- 実施概要
  - ▷ 日時：2022年12月9日（金）14:00～15:30（その後、有志のみ参加の観察会を15分実施）
  - ▷ 場所：太郎右衛門自然再生地（中池・入口とサクラソウ群落再生地）
  - ▷ 参加者：約200名
  - ▷ 内容：2班に分かれて、中池入口の除草（約200名）とサクラソウ群落再生地のヨシの運び出し（約30名）を実施
- 対応者：堂本委員長、小川委員、荒木委員、運営事務局（4名）

### 【スケジュール】

時間	内容
14:00	■ 受付開始
14:20	■ 開会式 ・ 開会の挨拶 ・ 活動の意義の説明 ・ 注意事項の説明
14:40	■ 環境保全活動 ・ 中池入口作業班： つる性植物等の除草 ・ サクラソウ群落再生地作業班： 刈り取ったヨシの運び出し
15:30	■ 記念撮影
15:35	■ 閉会式
15:45	■ 自然再生地の案内（有志のみ）

### 【実施状況】



### 【活動の振り返りと今後の方向性】

- ・ 今回で3回目の活動となり、参加者の中には、昨年度も参加されていた方が多く見られ、経験者が先導し、率先して行動する様子がありました。
- ・ これまで、大和ハウス工業（株）埼玉支社には、早春の野草の発芽を促すための枯草の除去を目的として自然再生活動に参画いただいていたが、より積極的かつ継続的な活動を促すために、今後は、中池入口の草地の具体的な目標像を設定し提示していく必要があります。例えば、ノウルシを移植することでノウルシ群落を創出するなどの案が挙げられます。

# 3. つばさ北小学校環境学習（2月7日(火)）の報告 （日本財団「海と日本プロジェクト」助成金活用・アサヒユウアスと連携）

- 日本財団による「海と日本プロジェクト」の埼玉県における事務局を担う（株）エフエムナックファイブから、本プロジェクトの助成金の活用について相談がありました。あわせて、「エコプロ2021」で、協議会として連携を打診したアサヒホールディングスから、森のタンブラーを活用した海洋プラスチック削減のワークショップの場を求めていることを聴取しました。そこで、協議会において企画調整し、つばさ北小学校において、R4-5年にかけて環境に配慮された森のタンブラーを活用し荒川の草花を育てるプロジェクトを始動させました。
- 実施概要
  - ▷ 日時：2023年2月7日（火）10:40～11:30（小学校の3時間目の授業）
  - ▷ 場所：川島町立つばさ北小学校（本部を図工室に設置し、各教室とWEBで接続したオンライン形式）
  - ▷ 対象：3年生（22名）・4年生（25名）
  - ▷ 内容：各教室でオンラインによる講義（太郎右衛門自然再生地について・森のタンブラーについて）を30分行った後、森のタンブラーに絵を描くワークショップを10分間実施 ※次頁掲載図の黄色枠部分
- 対応者：堂本委員長、運営事務局（4名）

## 【スケジュール】

時間	内容
10:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3時間目の授業開始</li> <li>■ 堂本委員長による挨拶と、太郎右衛門自然再生地についてのオンライン講話</li> </ul>
10:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アサヒグループジャパン（株）によるプラスチック問題や森のタンブラー等についてのオンライン講話</li> </ul>
11:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークショップ</li> <li>・ 森のタンブラーの色塗り</li> </ul>
11:20	■ 記念撮影
11:25	■ 閉会

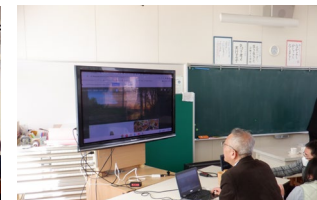
## 【実施状況】



講義の様子（3年生）



講義の様子（4年生）



講義の様子



配布した「森のタンブラー」



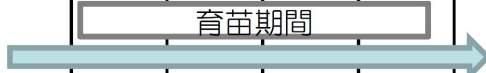




ワークショップの様子



集合写真

# 3. つばさ北小学校環境学習（2月7日(火)）の報告 （日本財団「海と日本プロジェクト」助成金活用・アサヒユウアスと連携）

2月	3月	4・5月	6月	7月	8月	9月	10月
<p>Phase 1 学びを深める</p> <p>「森のタンブラーで知ろう、森・里・川・海のつながり」 ※詳細は、次項以降参照</p> 	<p>Phase 2 保全活動①</p> <p>森のタンブラーを活用した 荒川の草花の種まき</p> 	<p>育苗期間</p> 				<p>Phase 3 保全活動②</p> <p>森のタンブラーで育てた 荒川の草花の苗の移植</p> 	
			 <p>森のタンブラー育苗のイメージ</p>				

## 【活動の振り返りと今後の方向性】

- 学校の窓口となった教務主任からは、3年生も4年生も真剣に講話を聞いており、大変良かったとのことでした。また、プラスチックごみの話は視野が広いテーマだが、3年生、4年生とも、それぞれの発達段階に応じて理解できる内容であったと感想をいただきました。
- ワークショップでは、児童はみんな笑顔で楽しく、かつ、真剣に絵付け・色付けを行っている様子が見られました。
- 今回のイベントは、「埼玉新聞（2月10日朝刊）」に掲載されるとともに、テレビ埼玉の「情報番組 マチコミ（2月22日）」で紹介されました。
- 今後は、来年度の新4年生が、今回色を付けたタンブラーを使って種から苗を育て、秋に自然再生地に移植するという年間を通した授業展開を図っていきます。児童が、自分たちの活動と自然再生地での活動へのつながりを意識しながら授業に臨んでいけるように、5月の授業時の意識付け（育てる植物を移植するというゴールがあること）や自然再生地のカワラナデシコの開花情報の提供、苗の育苗支援等を行っていきます。

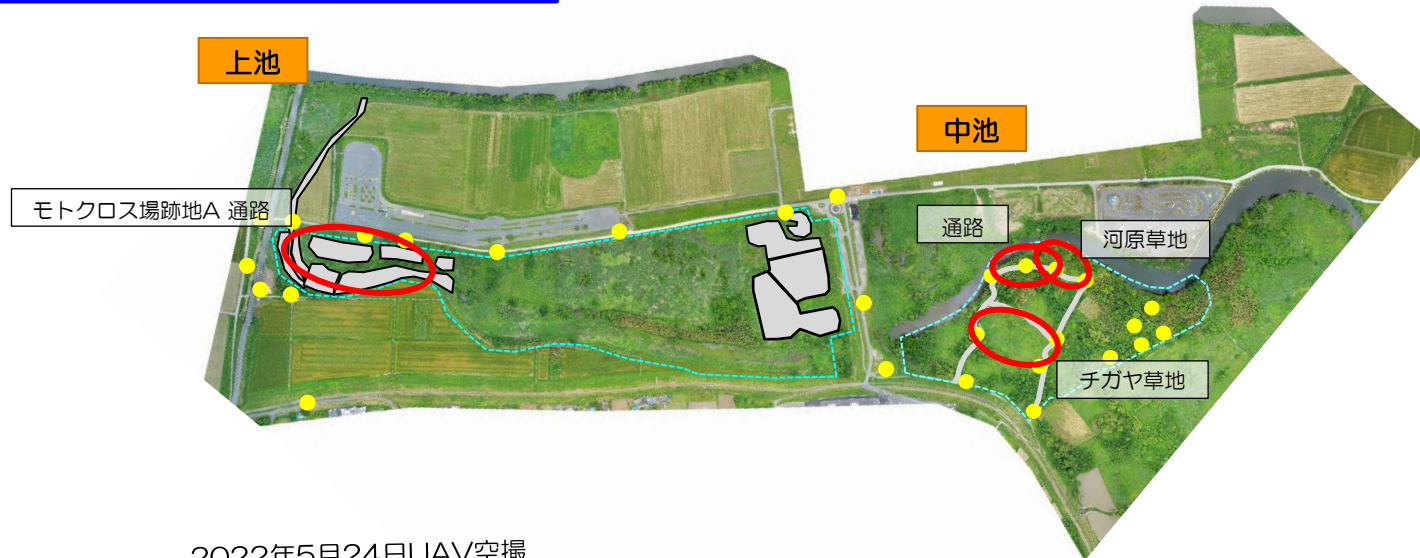
# 4. 本田航空（株）による機械除草の報告

- 本田航空は、過年度から上池エリアと中池エリアにおいて機械除草を行い、外来植物の繁茂抑制と通路の確保等にご協力いただいています。
- 昨年の秋以降、各エリアにおいて3回目となる機械除草を、下記のとおりを実施されたと報告がありました。
  - ・ 実施日 10月24日(月) 実施場所：上池・モトクロス場跡地A 通路、中池保全エリア・チガヤ草地/河原草地/通路
  - ・ 実施日 11月8日(火) 実施場所：中池保全エリア・チガヤ草地/河畔草地/通路

作業後



作業後



2022年5月24日UAV空撮